

環境活動レポート

第14期

(対象期間:平成29年12月1日～平成30年11月30日)



有限会社 愛西クリーンセンター

発行日:平成31年1月 15日

改訂日:平成31年2月 2日

目次

エコアクション21

1	会社概要	1
	有限会社 愛西クリーンセンター	
	株式会社ACS	
2	対象範囲と対象期間	4
3	廃棄物処理フロー図	5
4	環境方針	6
5	実施体制	7
6	環境目標と環境活動計画	7
7	運用期間の環境目標と実績	10
8	環境活動計画の実施状況評価と次年度の取組	11
9	環境関連法規等取りまとめ表及び遵守評価記録	12
10	代表者による全体の評価と見直しと結果	13

1-1 会社概要

- 1) 商号 有限会社 愛西クリーンセンター
- 2) 代表者 辻 朝子
- 3) 本社・工場 〒496-0906 愛知県愛西市日置町四反割6-1 (面積:3147㎡)
TEL 0567-26-1386 FAX 0567-26-1396
焼却プラント 〒496-0906 愛知県愛西市日置町四反割21-1 (面積:828㎡)
駐車場 〒496-0906 愛知県愛西市日置町四反割27-1 (面積:1,082㎡)
- 4) 設立 平成16年12月8日
- 5) 資本金 1000万円
- 6) 売上高 291百万円 (平成29年12月～平成30年11月)
- 7) 環境管理責任者 渡辺 やよい
- 8) 事業内容 産業廃棄物収集運搬業・産業廃棄物処分業

9) 事業規模

処理実績	産業廃棄物収集 運搬量	産業廃棄物中間 処分量
平成29年度	1281 t	7,219 t

※平成29年12月1日～平成30年11月30日までの実績
従業員数 7名

10) 設 備

焼却炉 1基
処理能力

廃プラスチック類(自動車破砕物を除く)	6.72t/日
紙くず	10.92t/日
木くず	10.92t/日
繊維くず	12.48t/日
動植物性残渣	4.08t/日
動物系固形不要物	4.08t/日

破砕機 1基
処理能力

廃プラスチック類(自動車破砕物を除く)	4.28t/日
紙くず	3.43t/日
木くず	4.00t/日
繊維くず	2.18t/日
ゴムくず	3.59t/日

選 別
処理能力

68.16m³/日 (8.52m³/時間)

廃プラスチック類(自動車等破砕物を除く及び石綿含有産業廃棄物を除く)、紙屑、木屑、繊維屑、ガラス屑、コンクリート屑(工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く)及び陶磁器屑(自動車等破砕物及び、石綿含有廃棄物を除く)、金属屑(石綿含有産業廃棄物を除く)、がれき類(石綿含有産業廃棄物を除く)

11) 保有車両

車種	車両登録番号
4t塵芥車	名古屋 800 す 6969
4t塵芥車	名古屋 800 せ 654
4tユニック車	名古屋 130 さ 2809
4tアームロール車	名古屋 130 さ 2509
軽バン	名古屋 480 あ 2478
10tアームロール車	名古屋 130 さ 3006
営業車(アイシス)	名古屋 331 や 2706
営業車(プリウス)	名古屋 320 ち 24
営業車(CX-3)	名古屋 332 ら 3005

12) 許可内容

①産業廃棄物収集運搬業

許可取得	許可番号	許可年月日	許可の有効年月日
愛知県	第02300117048号	H27.4.18	H32.4.17
事業範囲	積替え保管を除く		
燃殻、汚泥、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類(自動車等破砕物を除く、石綿含有産業廃棄物を含む)、紙屑、木屑、繊維屑、動植物性残渣、動物系固形不要物、ゴム屑、金属屑(自動車等破砕物を除く)、ガラス屑・コンクリート屑(工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く)及び陶磁器屑(自動車等破砕物を除く、石綿含有産業廃棄物を含む)、鉱滓、ダスト類、がれき類(石綿含有産業廃棄物を含む)			

許可取得	許可番号	許可年月日	許可の有効年月日
岐阜県	第02100117048号	H27.4.26	H32.4.25
事業範囲	積替え保管を除く		
燃殻、汚泥、紙屑、木屑、繊維屑、ゴム屑、金属屑(自動車等破砕物を除く)左記7品目は石綿含有産業廃棄物であるものを除く。廃プラスチック類(自動車等破砕物を除く)、ガラス屑・コンクリート屑(工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く)及び陶磁器屑(自動車等破砕物を除く)、がれき類上記3品目は石綿含有産業廃棄物を含む。廃油、廃酸、廃アルカリ、動植物性残渣、鉱滓、煤塵以上16種類			

許可取得	許可番号	許可年月日	許可の有効年月日
三重県	第02400117048号	H27.4.10	H32.3.17
事業範囲	積替え保管を除く		
燃え殻、紙屑、木屑、繊維屑、動植物性残さ、ゴム屑、金属屑、ガラス屑等(石綿含有産業廃棄物を含む。)、鉱さい、がれき類(石綿含有産業廃棄物を含む。)、煤塵 以上16種類 ※ガラス屑等とは、「ガラス屑、コンクリート屑(工作物の新築、改築、又は除去に伴って生じた物を除く。){及び陶磁器屑」をいう。			

②産業廃棄物処分業(中間処分)

許可取得		許可番号	許可年月日	許可の有効年月日
愛知県		第02320117048号	H27.9.30	H32.9.29
事業の範囲		内容		
焼却	取扱品目	廃プラスチック類(自動車等破砕物及び石綿含有産業廃棄物を除く。)紙屑、木屑、繊維屑、動物性残渣、動物性固形不要物 以上6品目		
選別	取扱品目	廃プラスチック類(自動車等破砕物及び石綿含有産業廃棄物を除く)、紙屑、木屑、繊維屑、金属くず(自動車等破砕物を除く)、ガラスくず・コンクリート屑(工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く)及び陶磁器屑(自動車等破砕物及び石綿含有産業廃棄物を除く)、がれき類(石綿含有産業廃棄物)を除く 以上7品目		
破砕	取扱品目	廃プラスチック類(自動車等破砕物及び石綿含有産業廃棄物を除く)、紙屑、木屑、繊維屑、ゴム屑 以上5品目		

13) 中間処理フロー

P-5 参照

③事業関係資格

資格・講習の種類	人数
産業廃棄物処理業の許可申請に関する講習会(収集運搬過程)	2
産業廃棄物処理業の許可申請に関する講習会(処分過程)	2
産業廃棄物焼却施設技術管理士	2
破砕・リサイクル施設技術管理士	1

1-2 会社概要

- 1)商号 株式会社 ACS
- 2)代表者 辻 朝子
- 3)本社・工場 〒496-0906 愛知県愛西市日置町四反割27-1
TEL 0567-22-3151 FAX 0567-22-3152
- 4)設立 平成29年7月6日
- 5)資本金 300万円
- 6)売上高 79百万円 (平成29年12月～平成30年11月)
従業員数 2名
- 7)環境管理責任者 渡辺 やよい
- 8)事業内容 一般廃棄物収集運搬業
- 9)事業規模 運搬処理実績 1,451 t
※平成29年12月1日～平成30年11月30日までの実績
- 10)保有車両

車種	車輛登録番号
6t塵芥車	名古屋 830 さ 2707
6t塵芥車	名古屋 830 さ 2907
6t塵芥車	名古屋 130 さ 3009
4tアームロール車	名古屋 130 さ 2806
3tヨエース	名古屋 430 ね 3002

12)許可内容

①事業系一般廃棄物収集運搬業

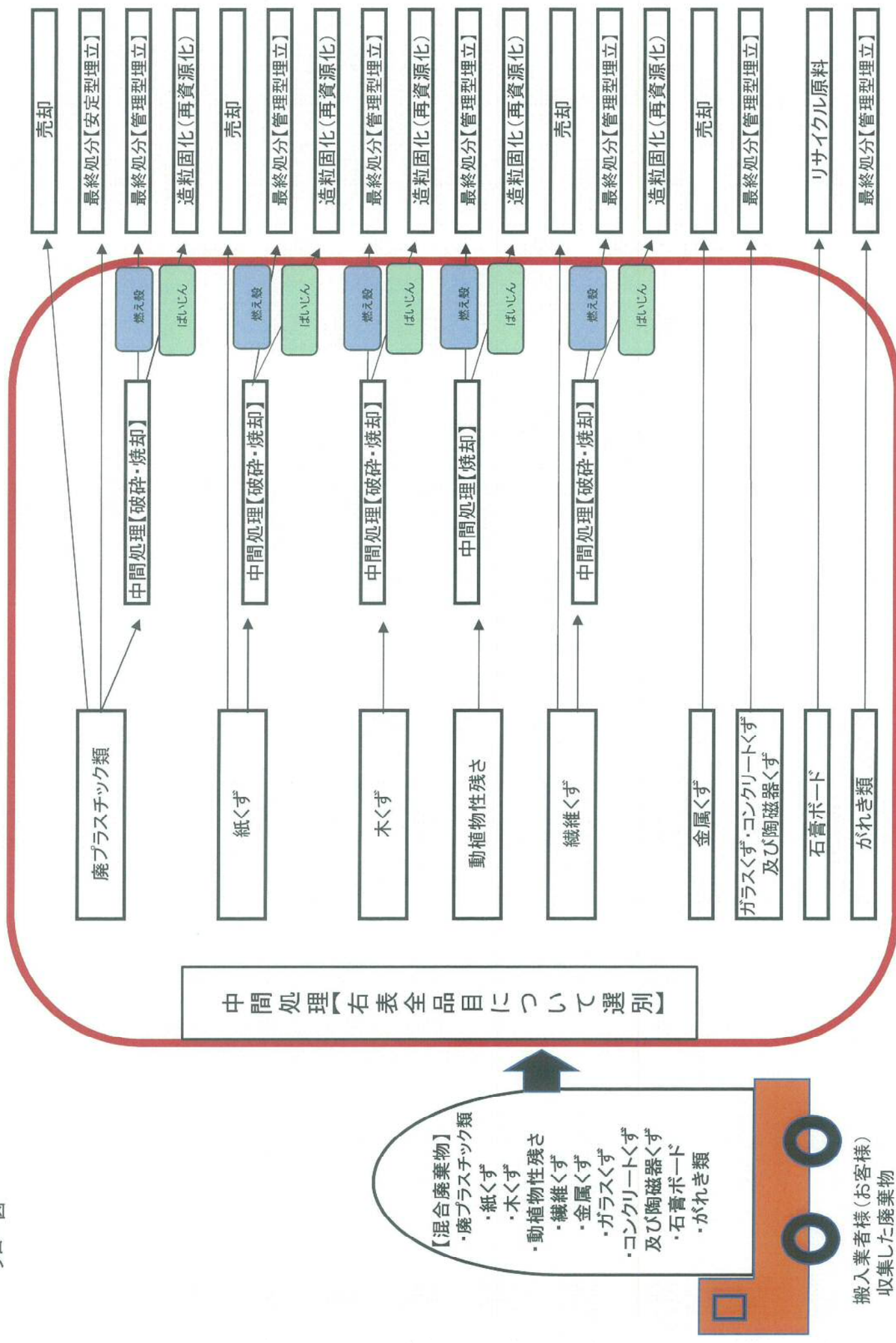
許可取得	許可番号	許可年月日	許可の有効年月日
津島市	29津島生環第172号	H29.10.1	H31.9.30
あま市	第29-14号	H29.9.8	H31.3.31
愛西市	29愛西環許可番号第11号	H29.10.1	H31.9.30
弥富市	26弥富第133号	H29.10.1	H31.9.30
弥富市(八穂)	26弥富第318号	H29.10.1	H31.9.30
稲沢市	29稲資指令第145号	H30.4.1	H32.3.31
蟹江町	29蟹環指令第56号	H29.10.1	H31.9.30
飛島村	29保第2017号	H29.10.1	H31.9.30

2. 対象範囲と対象期間

1)対象範囲 全組織・全活動(株)ACS含む)

2)環境活動レポート対象期間

平成29年12月1日～平成30年11月30日までの環境活動レポートを平成31年1月15日に発行。次年度は平成30年12月1日から平成31年11月30日までの、環境活動レポートを、平成32年1月に発行予定。



環境方針

〈基本理念〉

私共、有限会社愛西クリーンセンターは産業廃棄物処理業のエキスパートとして循環型社会への取り組みを行い、株式会社ACSは一般廃棄物収集運搬業で地域社会へ貢献します。

〈基本方針〉

1. 事業活動において摘要される環境関連法規及び当社が同意するその他の要求事項を厳守します。
2. 廃棄物のリサイクル化への取り組みを推進し廃棄物削減に努めます。
3. 化石燃料並びに電力の使用に係る二酸化炭素排出量を削減します。
4. 水の削減に努めます。
5. 事務用品、原材料のグリーン購入に努めます。
6. 地域社会に密着した環境経営活動に努めます。
7. 環境方針を全社員に周知し、環境活動に取り組めます。

有限会社 愛西クリーンセンター

株式会社 ACS

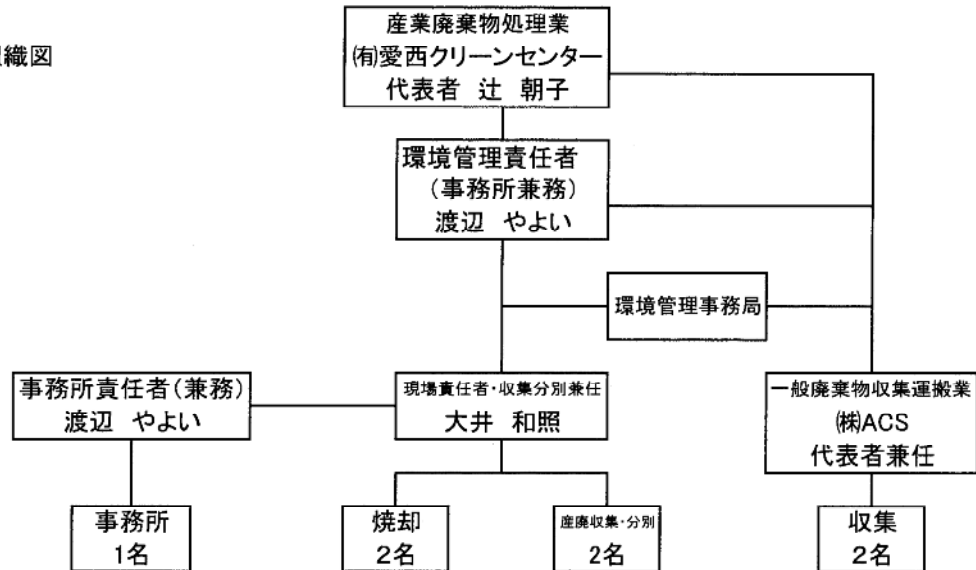
代表取締役 辻 朝子

制定日 平成26年 7月 1日

改定日 平成30年11月20日

3. 実施体制

組織図



役割と責任・権限

(ACS含む)	責任・権限
代表者	◇環境経営の統括責任者 ◇環境管理責任者選任 ◇経営資源(人員・設備・費用)の準備 ◇環境方針の策定 ◇環境活動レポートの承認 ◇代表者による全体の評価と見直しを実施
環境管理責任者	◇全社員への教育並びに訓練 ◇環境経営システムの構築、実施、管理の責任者 ◇環境目標、環境活動計画の承認 ◇環境活動レポートの作成責任者 ◇環境活動の管理状況の代表者への報告業務 ◇従業員への環境方針の周知 ◇問題点の発見、是正、予防処置の実施
環境管理事務局	◇環境管理責任者の補佐 ◇環境負荷及び環境への取り組みの確認と実績の取りまとめ ◇環境目標、環境活動計画書原案の作成 ◇環境関連法規等とりまとめと厳守状況のチェック ◇環境管理文書・記録の作成と保管 ◇環境活動レポートの作成 ◇教育・訓練実施、記録の作成 ◇グリーン購入促進
責任者	◇従業員への指導・実践 ◇環境目標達成するための活動の推進・提案 ◇手順書作成及び運用管理
全従業員	◇環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ◇自分の役割を理解し、自主的・積極的に環境活動へ参加

4. 環境目標と環境活動計画

環境目標

		単位	第11期 基準値	第13期	第14期	第15期	第16期
		削減率	(H26/12～ H27/11)	(H28/12～ H29/11)	(H29/12～ H30/11)	(H30/12～ H31/11)	(H31/12～ H32/11)
電力使用量の削減		kwh/百万円	2,802	2,746	2,718	2,690	2,636
		(削減率%)		2	3	4	5
ガソリンの削減		L/百万円	24.3	23.8	23.6	23.3	22.9
		(削減率%)		2	3	4	5
軽油使用量の削減		L/百万円	99.8	97.8	96.8	95.8	93.9
		(削減率%)		2	3	4	5
重油使用量の削減		L/百万円	155	152	150	149	146
		(削減率%)		2	3	4	5
二酸化炭素排出量 合計(購入エネルギー)		kg-CO2/百万 円	2,184	2140	2,118	2,097	2,055
				2	3	4	5
廃棄物排出量の削減		t/百万円	7.40	7.20	7.10	7.00	7.00
		(削減率%)		2	3	4	5
水使用量の削減		m³/百万円	19.3	18.9	18.8	18.6	18.6
		(削減率%)		2	3	4	5
グリーン購入の推進		購入点数	5	7	8	9	10
社会 貢献 活動	障がい者施設業務委託	障がい者施設(社)			可能な範囲で実行	可能な範囲で実行	可能な範囲で実行
	障がい者雇用	障がい者雇用(人)			可能な範囲で実行	可能な範囲で実行	可能な範囲で実行
	その他地域貢献	地域清掃・不法投棄パトロール参加			可能な範囲で実行	可能な範囲で実行	可能な範囲で実行
環境配慮項目 (リサイクル率の向上)		再資源化量/ 処理量	6.6%	8.6%	9.6%	10.6%	11.6%
				プラス2%	プラス3%	プラス4%	プラス5%

※上記目標は㈱ACS含む

※1.目標は基準年の売上高(270百万)及び環境負荷実績から換算し原単位目標としました

※2.二酸化炭素排出係数は中部電力の0.516kg-CO2/kwhを使用 H24年公表値を基準として算出

※3.PRTR法に該当する化学物質の使用はありません

※4.二酸化炭素排出量は購入エネルギーによる排出量の削減目標とします。

※5.障がい者業務委託は就労支援施設より数名分別作業を委託。

(基準値根拠)

電力使用量	二酸化炭素排出量	廃棄物排出量	水使用量	ガソリン	軽油	再資源化
756,535kwh	589,713kg-CO2	2,008t	5,220m³	6,549L	26,934L	461t
重油	売上高					
41,870 L	270百万					

2)環境活動計画

目標項目	活動	責任区
電力使用量の削減	電力による二酸化炭素排出量の削減	事務所
	冷房温度28℃設定とクールビズ運動	事務所
	暖房温度20℃設定とウォームビズ運動	事務所
	不要照明の消灯	全社員
	OA機器の省エネモード設定	事務所
	焼却施設の電力使用時間の効率化の工夫	焼却炉
ガソリン・軽油の使用量削減	自動車燃料による二酸化炭素排出量の削減	全社員
	アイドリングストップ	全社員
	急加速の抑制	全社員
	始業前点検の実施	全社員
重油の使用量の削減	燃焼バーナーの維持管理(使用頻度の削減)	焼却担当
	法定燃焼ガス温度の制御の徹底	焼却担当
一般廃棄物量の削減	分別ボックスの設置	事務所
	裏紙の使用	事務所
	古紙・ダンボールのリサイクル化	事務所
産廃最終処分量の削減	現場での分別励行	現場
水使用量の削減	使用後は必ず栓を止める	全社員
	高圧洗車機の時間短縮	現場
事務用品のグリーン購入	文房具グリーン製品購入	事務所
社会貢献活動	障がい者就労支援施設への業務委託説明	現場
	地域活動への参加	全社員
環境配慮項目 (リサイクル率の向上)	顧客への分別細分化の提案	全社員
	従業員への分別教育の徹底	全社員

5. 運用期間の環境目標と実績

	単位	第11期 基準値	第14期(H29/12～H30/11)		達成 率	評価
			目標	実績		
電力使用量の削減	kWh/百万円	2,802	2,718	2,185	124%	○
ガソリン使用量の削減	L/百万円	24.3	23.6	8.27	285%	◎
軽油使用量の削減	L/百万円	99.8	96.8	139	70%	△
重油使用量の削減	L/百万円	155	150	315	48%	×
二酸化炭素排出量合計(購入エネルギー)	kg-CO2/百万円	2,184	2,118	2,164	98%	○
二酸化炭素総排出量合計(焼却含む)	kg-CO2	13,117,359	-	15,173,318	-	-
廃棄物排出量の削減	t/百万円	7.40	7.10	6.10	116%	◎
水使用量の削減	m³/百万円	19.3	18.8	14.4	131%	◎
グリーン購入の推進	購入点数	5	8	34	425%	◎
社会貢献活動	障がい者施設業務委託	障がい者施設(社)	可能な範囲で実行	2	-	◎
	障がい者雇用	障がい者雇用(人)		1	-	◎
	その他地域貢献	地域清掃・不法投棄パトロール参加		実行できた	-	◎
環境配慮項目(リサイクル率の向上)	%	6.6%	9.6%	6.50%	68%	△

※上記の実績には㈱ACSも含む。但し使用しない項目に関しては(有)愛西クリーンセンターの売上で計算しています。

※評価基準 達成率100%以上◎ 80%以上○ 50%以上△ 50%以下×

※1二酸化炭素の排出量は購入エネルギーによる排出量を対象として削減しています。

※2参考(原単位実績値算出に関する項目別総量実績)

	単位	第11期(H26/12～H27/11)	第14期(H29/12～H30/11)	㈱ACS(H29/12～H30/11)
		実績	実績	実績
電力使用量	kWh	756,535	808,449	59
ガソリン使用量	L	6,549	2,406	0
軽油使用量	L	26,934	33,644	17,810
重油使用量	L	41,870	91,664	0
二酸化炭素排出量(購入エネルギー)	kg-CO2	589,713	759,414	41,379
産業廃棄物排出量	t	2,007	1,776	0
水使用量	m³	5,220	5,060	280
産業廃棄物処理量	t	6,997	7,219	0
再資源化量	t	461	334	133
(売上高)	百万円	270	291	79

《環境目標の達成状況の評価について》

1)電力使用量

電力使用量は減少していないが、売上が増加した為数字的には目標を達成できているが、今後も環境活動計画:環境目標の達成に努めていきたい。各電気スイッチの傍に「節電」の記載を増やし社員の意識は高まってきている。

2)ガソリン使用量

ハイブリッド車の購入や事業の合理化の為車両減少により目標を大幅に達成する事ができました。

3)軽油使用量

大型車両の増車に伴い燃料も増加傾向にある為、車両管理表を見直して作成しなおした。

4)重油使用量

今年度は搬入物が増加し且つ高含水率が増えた為、重油消費量の増加につながったと考えられる。また、前年度から焼却温度調整を継続していることもその原因の一つと考えられる。収集先及び自社中間処理場での降雨対策を検討すると共に、今後の状況により目標の見直しをする。

5)廃棄物排出量

分別を徹底する事により、排出量が削減できた。焼却炉のメンテナンスを定期的に行った事で炉内の保温効果が上がり、且つ未燃分の発生量が削減された。

6)水の使用量の削減

「節水」の各所蛇口への記載を徹底し社員の意識が高まった結果が出たと思う。

7)グリーン購入の推進

事務用品以外もリサイクル商品購入に努め、目標を大幅に達成できた。

8)社会貢献活動

近隣のゴミ拾いを週1回継続してできている。

今後も障害者就労支援施設への業務委託を積極的に行い、今後も障害者雇用もしていきたい。

9)リサイクル率の向上

社会情勢の影響でプラスチックが有価として出せなくなり、搬入物の制限の強化を行った為目標達成には至らなかった。今後の傾向を見て目標の再検討をしたい。

6. 環境活動計画の実施状況評価と次年度の取組

1)環境活動計画の実施状況評価

◎よくできた ○まあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

目標項目	取組計画	評価	次年度の取組
電気使用量の削減	冷房温度28℃設定とクールビズ運動	◎	継続して取り組みます
	暖房温度20℃設定とウォームビズ運動	○	
	フィルターの清掃	◎	
	昼休みの消灯	◎	
	不要照明の消灯	◎	
	OA機器の省エネモード設定	◎	
	焼却施設の出力点検、効率稼働で起動電力の削減	◎	
燃料使用量削減 (ガソリン・軽油)	自動車燃料による二酸化炭素排出量の削減	◎	日報に付属の✓項目を運転前に確認し エコドライブ運転を心掛けます。
	アイドリングストップ	◎	
	急加速の抑制	○	
	始業前点検の実施	○	
燃料使用量削減(重油)	燃焼バーナーの維持管理、安定燃焼がはかれるような廃棄物の選別・混合	◎	継続して取り組みます
一般廃棄物の削減	分別ボックスの設置	◎	事務所内・現場共に継続して取り組みます
	裏紙の使用	◎	
	古紙のリサイクル化	◎	
産業廃棄物排出量の削減	現場での分別励行	◎	継続して取り組みます
水使用量の削減	使用後は必ず栓を止める	◎	継続して取り組みます
	高圧洗車機の時間短縮	○	
グリーン購入	文房具グリーン製品購入	◎	文房具以外にもECO製品を率先して購入します
リサイクル率の向上	顧客への分別細分化の提案	◎	継続的に従業員へ分別教育をし、顧客への説明を鮮明にできるように徹底していきたい。
	分別活動の精度アップ	◎	
	従業員への分別教育の徹底	◎	
社会貢献活動	障がい者就労支援施設への業務委託説明	○	継続して取り組みます
	地域の活動に率先して参加	◎	
	自社周辺の草刈り・ゴミ拾い	◎	

7. 環境関連法規等取りまとめ表及び遵守評価記録

平成29年12月20日

法規制等の名称	該当する事項 (対応すべき事項)	確認事項	遵守
			確認
廃棄物処理法 廃棄物の適正な処理の 促進に関する条例	・一廃収集業者の許可の確認	許可証	○
	・産廃収集運搬・処理業者の許可の確認	許可証	○
	・収集運搬基準、保管基準 掲示板: 60cm×60cm以上表示(種類、管理者、連絡先、積上げ高さ) 飛散・流出・浸透防止、害虫発生防止 衛生管理 車体表示、必要書面の備え付け	遵守状況	○
	・マニフェスト交付 B2・D票90日、E票180日以内に送付されない場合は30日以内に 知事への報告。 A、B2、D、E票の保管。(5年間)	マニフェスト	○
	・産業廃棄物管理票交付等状況報告書の提出	報告書提出	○
	・帳簿の作成、管理	作成・保 管	○
	・焼却設備構造条件	点検表	○
	・責任者の設置(産業廃棄物処理責任者、技術管理者)	設置確認	○
	・年1回委託先の確認	委託先確認	○
騒音規制法 (愛知県条例)	・特定施設の事前届出 ・地域別騒音基準の順守	届出 管理	○ ○
振動規制法 (愛知県条例)	・特定施設の事前届出 ・地域別振動基準の順守	届出 管理	○ ○
大気汚染防止法	・特定施設設置・変更の届出 ・排出濃度の測定・記録(3年保存)、監視	届出 測定記録	○ ○
ダイオキシン類 対策特別措置法	・特定施設設置・変更の届出 ・排出基準遵守(測定・記録) ・測定結果報告	届出 記録 届出	○ ○ ○
化学物質排出把握管理 促進法(PRTR法)	・ダイオキシン類対策法上の特定施設 ・排出量の把握・届け出	届出	○ ○
水質汚濁防止法	・事故時の措置(貯油施設等)油水分離槽、排出基準の遵守	無し	無し
浄化槽法	・浄化槽法定検査、保守点検、清掃	記録	○
愛西市火災予防条例	・焼却炉燃焼基準遵守 ・作業中の防火管理	保守管理	○ ○
フロン排出抑制法	・簡易点検の実施 ・記録作成保存	簡易点検 記録	○
公害防止協定 (津島市・愛西市)	・公害防止協定は、環境汚染を未然に防止し周辺住民の安全及 び環境の 保全を図る事を目的とする。	協定書 保管	○ ○
自動車NOx・PM法	・自動車NOx・PM排出抑制	買替 法定点検	該当なし ○
オフロード法	・特定特殊自動車排出ガス排出の抑制	点検	○
工業用水法	・設置、変更、廃止の届出	届出	○
県民の生活環境の 保全等に関する条例	・自動車の使用に伴う環境への負荷の低減	遵守状況 -	○ 該当なし
グリーン購入法	・できる限り環境物品等を選択するよう努める	努力状況	○

適用される主な環境関連法規等取りまとめ表に基づき遵守状況を確認し環境関連法規等を遵守している事を確認しました。

また、関係当局よりの違反等の指摘は過去5年間ありません。

8. 代表者による全体の評価と見直しの結果

報告 平成30年12月20日
評価見直し 平成30年12月25日

項目	代表者への報告事項		代表者評価コメント
	目標達成度と活動評価	コメント	
二酸化炭素排出量削減目標	98%	環境活動計画内容を社員全員が理解し、取組を強化する事により前期より達成率に繋がった。	教育訓練を環境管理責任者が積極的に行い、全体会議の中でも削減量や燃料等
	○		
廃棄物排出量削減	116%	お客様へ搬入時の選別の仕方を説明し徹底した成果だと思います。焼却炉のメンテナンスを定期的に行った事も繋がっていると思います。	について議題にあがり、従業員が数字を把握するようになった結果、達成率の向上に
	◎		
水使用量削減	102%	各場所に節水シール等を貼る事により、社員の意識が高まったと思います。	つながったと思います。各現場会議も毎月行い各責任者がそれぞれの役割を把握でき
	◎		
環境配慮項目 (リサイクル率向上)	68%	社会情勢の影響でプラスチックが有価として出せなくなり、搬入物の制限の強化を行った為	従業員に環境活動計画を推奨できたと思う。今後は各会議で継続可能な目標を立て達成
	△		
グリーン購入	425%	購入時にエコマークの付いた商品を率先して購入した。	出来る様に努めて欲しいと思います。従業員の中に自分で実行できる事を提案する
	◎		
社会貢献活動 (障害者就労支援施設)	実行できた	本年度は、1人障害者施設からの雇用もあり今後も積極的に取り組みたいと思います。	者も増え、環境活動認識が向上している。リサイクル率向上に関しては社会情勢の影響
	◎		
社会貢献活動 (地域活動参加)	実行できた	近隣のゴミ拾いや草とりは週1回と決め、実行できたと思います。地域の行事にも今後積極的に参加できればと思います。	もあり、今後の課題として様々な視点から検討していきたいと思います。
	◎		
環境経営システムの有効性 今回の活動状況から、エコアクション21環境経営システムは有効に活用されていると思います。			

見直しの必要性	
環境方針	本年度変更した為、見直しは必要ない
実施体制	(株)ACSが分社化した事により変更
環境目標	従来通り
環境活動計画	従来通り
活動の推進	従来通り
その他	